



「出前で届ける子どものあそび*アート*交流体験 あそぼ あそぼ」

実績報告書



■ 佐倉市佐倉老幼の館児童館	8月2日(水) 14:00~16:00	こまあそびの出前隊がやってくる!
■ 市川市こども館	8月19日(土) 10:00~12:00	ダンスであそぼう!
■ 松戸市野菊野こども館	8月20日(日) 13:30~15:30	こまあそびの出前隊がやってくる!
■ 印西市そうふけ児童館 (松山下公園総合体育館)	8月23日(水) 10:00~12:00	はじけておどろうダンスあそび!
■ 佐倉市臼井老幼の館児童館	12月25日(月) 10:00~12:00	体をつかってワクワクドキドキいっしょにあそぼう!



こまあそびの出前隊がやってくる!



はじけておどろうダンスあそび!



体をつかってドキドキワクワクいっしょにあそぼう!



ダンスであそぼう!





■事業名

「出前で届ける子どものあそび*アート*交流体験 あそぼ・あそぼ」事業

■事業の背景・目的

4年にわたり続くコロナ禍は、子どもたちの日常生活においても懸念が示されてきている。人との交流が減り、心身の発達が危惧され、これからどんなことが必要とされていくか。子どもにとってかかせない体験・交流の場を取り戻していくことが急務となっている。機会を少しでも取り戻していく必要がある。おもいっきり、体を動かし、心身を発散し遊ぶ。芸術文化体験をプロの芸術家が出前で届け、日頃から親しんでいる会場であそびを伴う体験・交流活動を行う。

■実施内容

<ワークショッププログラム内容>

- ① コミュニケーションあそび…自由に自分を開放して、仲間とコミュニケーションをとりながらあそび・交流を楽しむ
- ② こま・けん玉あそび…仲間とお互いに教えあいながら、自分のスキルアップやチャレンジしていくことで自信につながっていくことができる。
- ③ ダンスあそび…仲間と話し合いながらダンスを作り上げていき、表現する楽しさをえて交流する。

■実施体制

芸術文化部 10人…部会3回開催(2023年7月31日(月) 8月24日(木) 2024年1月9日(火))

鈴木佳子 椎名好子 岡田泰子 中村雪江 大森智恵子 滝口淳子 大塚るい 買場都明 宇野京子 笠原直子

指導者14人：武田勉 大潤弘幸 安西真幸 安西千紗 岡田泰子 大塚るい 鈴木佳子

白鳥みゆき 椎名好子 滝口淳子 中村雪江 綿貫のぼら 加藤香都代 濱美幸

コーディネーター6人：宇野京子 岡田泰子 椎名好子 鈴木佳子 滝口淳子 中村雪江

■事業実績

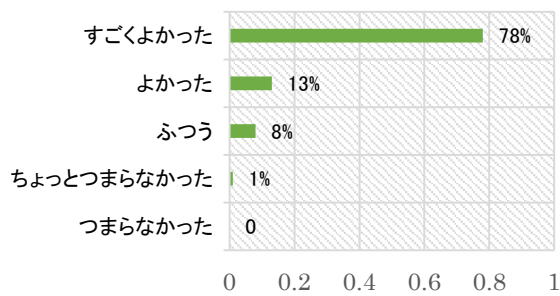
	施設名	日時	指導者	参加者数(人)				
				子ども	保護者	施設スタッフ	行政	総計
1	佐倉市 佐倉老幼の館児童館	8月2日(水) 14:00~16:00	武田勉(こまのたけちゃん) 白鳥みゆき 鈴木佳子 滝口淳子 椎名好子	25	6	7	0	38
2	市川市こども館	8月19日(土) 10:00~12:00	安西真幸 大塚るい 岡田泰子 加藤香都代 濱美幸	21	13	5	0	39
3	松戸市 野菊野こども館	8月20日(日) 13:30~15:30	武田勉(こまのたけちゃん) 岡田泰子 中村雪江 滝口淳子 椎名好子	21	7	4	0	32
4	印西市そうふけ児童館(松山下公園総合体育館)	8月23日(水) 10:00~12:00	安西真幸 安西千紗 椎名好子 綿貫のぼら 鈴木佳子	44	0	4	1	49
5	佐倉市 臼井老幼の館児童館	12月25日(月) 10:00~12:00	大潤弘幸 綿貫のぼら 滝口淳子 白鳥みゆき 椎名好子	26	0	9	2	37
	5か所	10時間	25人	137	26	29	3	195

※子どもの内訳 137人 (幼児 22人 小学生 114人 中学生 1人)

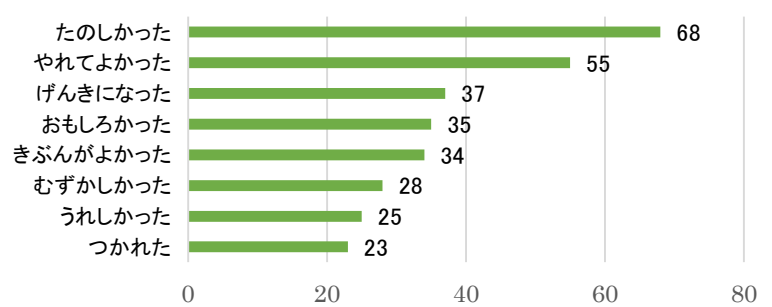


アンケート集計・分析

◆ワークショップ後の気持ちはどうでしたか？ 子ども79



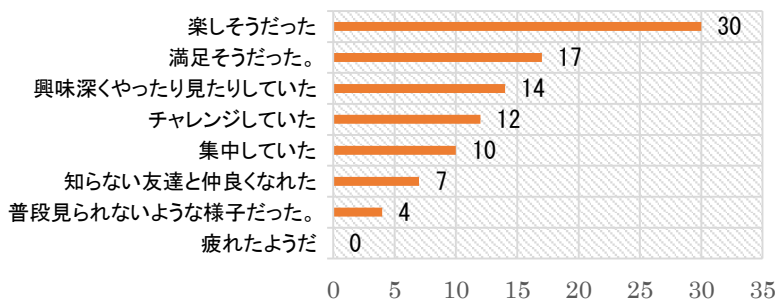
◆今日のワークはいかがでしたか？ 子ども複数回答305



子どもの自由記述

- ・ようちえんから一年生までこまをまわせなかったけど、今日、きゅうにまわせるようになってびっくりしてたのしかった。
- ・コマをおおま先生が教えてくれました。みんなとコミュニケーションがとれてうれしかった。
- ・またさんかしたい！ 多数あり
- ・コマがもっとうまくできたり。そんなに見たこともないものを使えてたのしかった。たけちゃんのすごわざがすごくておもしろかった。
- ・デビルスチックを何回も練習して、まわるのはできなかったけど、上にあげるのはできたから、まわるのもちようせんしようと思った。
- ・自由につくっていいおどりで、私が考えたおどりがさいようされてうれしかった。
- ・あたらしいわざができるようになった

◆ワークを体験した子どもたちの様子はどうでしたか？(複数回答 大人)



分析

ワーク実施後の子どもの気持ちは「ふつう～すごくよかった」99%、「たのしかった やれてよかった 元気になった等」積極的な気持ちが90%を超える。

施設スタッフ等による子どもたちの様子について、7項目すべてに回答が寄せられ、自由記述に記載された。直接目で見て感じたリアルな子どもの様子・姿の評価は、客観性と真実性があり、アートを活用した遊び体験の効果の高さがみとれる。

参加した大人（保護者）の 自由記述

- * 皿まわしとか簡単そうにみえて実際やってみるとむずかしかったです。たけちゃんのキャラ最高です(笑)
- * 最初の体操から先生の話をよく聞いて動きをまねしていて子どもが思った以上にうごけるんだなーと感動しました。家とは違う我が子の様子、みんなでの活動に楽しそうに参加している様子を見ることができました。
- * 子どもにとってとても新鮮な体験だったと思います。色々なバラエティ豊かな内容でとても楽しそうでした。
- * なかなか他のおともだちと体を動かす機会がなかったのでとても良かったです。
- * 子どもが自分でダンスを發明する、いい経験でした。先生の明るい雰囲気につられて子どもたちも自然と笑顔になっていました。それを見てこちらも幸せな気持ちになりました。
- * 玉すだれに初めて触れた。幼児用のこまを回すとヘビが動く仕掛けのコマにめちゃくちゃはまっていた。子どもたちの興味関心度はすごかった。



参加した大人（施設職員・スタッフ）の自由記述

- * 本当に楽しい時間で子どもたちはいろんなことに挑戦して素晴らしかった。リラックスしていい体験をさせてもらった。実際に行った体験はゲームに負けない。
- * 保護者も子どもたちの様子をニコニコしながら参加し、あたたかい雰囲気だった。
- * 普段のこども館と違って気後れしている子もいたが、まあちゃんの無理強いしない巻き込み方が素晴らしい。みんなすごくいい顔をしていた。私たちも勉強になった。
- * 子どもたちはすごく楽しそうで盛り上がっていました。たけちゃんのすご技をあこがれをもって見ていたと思います。あそび体験はとても大事だと認識していて、今後も続けたいですね。
- * 児童館で出会ってから友だちになった子たちもいて、良かったです。6年生たちがリーダーシップを発揮していて良かった。
- * 指導者の子どもの乗せかたが上手で勉強になりました。子どもたちが笑顔で楽しんでるのが良かったです。
- * 自分たちも楽しかった。子どもたちはもっと楽しかっただろう。子どもがいつもより生き生き輝いていた。楽しくて笑顔がいっぱい、子どもの発想が自由だ。
- * 大潤さんの子どもをひきつける話術はすごい。子どもの受け止め方がすごい。真似したい。
- * あそび体験はとても大事だと認識していて、子ども館でも子ども劇場やたけちゃんの考えと同じ考えをもっています。今後も続けたいですね。



成果

- ① 子どものアンケートや自由記述から「たのしかった おもしろかった うれしかった 元気が出た」等、99%を超える子ども積極的な声が出され、あそび体験の効果が子どもによって示された。当日のあそび体験ワークの子どものイキイキとした様子、子どもたちの満足そうな「笑顔」も、効果があったことの証しと言える。
- ② 子どもたちが体を使い、技を教えてもらい、知恵を出し、仲間とコミュニケーションをとって遊んだ体験は、ほぼ全員の子どもたちから「またやりたい!」「またきてほしい!」「もっとやりた!」という気持ちを引き出した。遊ぶことの効用、遊びが生きていく力になっていくことを、子どもたちが教えてくれた。
- ③ プロによる遊びの仕掛けや、アプローチの仕方が絶妙で、子どもが主体的に遊ぶ・遊べるようになる声かけを、どの指導者もいっしょに遊んで伝えていたこと、「人と比べなくていい」「すごい!」「いいね!」「おもしろい!」と子どもを肯定的に捉える言葉や褒める言葉が、子どもたちを安心させ、自信をつけた。
- ④ 子どもにとって身近な地域の居場所である児童館やこども館等との連携で実施し、子どもの姿から気づき、発見した遊ぶことの意味や意義を、子どもに関わる専門職員や行政と共有できた。特に「子どもが主体的に遊ぶ」ことの大切さがどの実施先でも強烈なインパクトをもって受け止められた。従来の児童館等での遊びを、「子どもの主体性」を柱に取り入れていく見直しも始まり、施設職員やプログラムの質を高めることにつながった。

課題

- ① 「子どものあそび体験」をコロナ禍の4年間、ほぼ失ったことは、目に見えないところで子どもの成長に影響があることを、今年この遊び体験を実施したことで実感した。引き続き、行政等と連携して「遊ぶ意義と効用」を共有し、子どもの遊びや体験を継続し、広げていくことが大きな課題。
- ② 遊びを指導するプロをさらに開拓し、プログラムの種類を広げていくこと。
- ③ こども大綱に掲げられた「こどもまんなか社会」、将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活する社会の実現という、国・地方自治体の課題に向け、NPOとしても主体的に発信し貢献していく組織になること。



募集チラシ

こまあそびの出前隊がやってくる!

「出前で行ける子どものあそび*アート*交流体験 あそび あそび」

プログラム: **けん玉・こま回しに挑戦** **募集人数: 5人**
 日にち: 2023年8月2日(水) **参加費無料**
 時間: 14:00~16:00 (受付13:45から)
 場所: 佐倉老幼の館ホール **対象: 4歳~小学生 保護者**
 〒285-0038 佐倉市柳町229-2 TEL: 043-466-7080

プログラム<けん玉・こま回しに挑戦>
 指導者: こまのたけちゃん、白鳥みゆき、橋本美穂、黒川淳子、橋本好子

こまのたけちゃん活動部プロフィール
 全日本こま選手権4連続、4年連続で初の日本一に輝く、TV出演や指導者としても活躍中。こまのたけちゃんでは、障がい児児童の発達支援活動「アソビマツル」を実施。子どもたちに「生きる力」を、活動中。

主催・問合せ: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター
 〒260-0011 千葉県千葉市美郷区千早2-11-4 サウンドセンター 新千早 102号 ◆申込書は3ら面にあります
 TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: kidstheatre@illy.on.jp
 役員: 千葉県教育委員会

おもいっきりうごいて ダンスであそぼう!

「出前で行ける子どものあそび*アート*交流体験 あそび あそび」

プログラム: **ダンスであそぼう!** **参加費無料**
 日にち: 2023年8月19日(土)
 時間: 10:00~12:00 (受付9:45から) **募集人数: 5人**
 場所: 市川こども館 **対象: 市内在住・在学の4歳~小学生 (障がいの子どもは保護者の付き添いが必要です)**
 〒272-0024 市川市柳町2-53-4

プログラム<ダンスであそぼう>
 指導者: 安西真希 大塚まゆみ 岡田真子 宇野志子 清水真世

安西真希プロフィール
 ダンスのジャンルにとらわれない、色んな表現を求めて活動中。自らのクラスで、小学生~社会人のダンス指導もこなす。音楽が活動の軸。発達の遅い、子育て中のママさんなど、いろいろな方々を対象にした、ダンスの魅力を発信していきたい。定期的にワークショップを行う。

主催・問合せ: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター
 〒260-0011 千葉県千葉市美郷区千早2-11-4 サウンドセンター 新千早 102号 ◆申込書は3ら面にあります
 TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: kidstheatre@illy.on.jp
 役員: 千葉県教育委員会

こまあそびの出前隊がやってくる!

「出前で行ける子どものあそび*アート*交流体験 あそび あそび」

プログラム: **けん玉・こま回しに挑戦** **募集人数: 5人**
 日にち: 2023年8月20日(日)
 時間: 13:30~15:30 (受付13:15から) **参加費無料**
 場所: 野洲野こども館ホール **対象: 4歳~小学生 保護者**
 〒270-2243 野洲市野洲第6 TEL: 043-321-1144

プログラム<けん玉・こま回しに挑戦>
 指導者: こまのたけちゃん、宇野志子、橋田真子、中野真実、竹村貴史

こまのたけちゃん活動部プロフィール
 全日本こま選手権4連続、4年連続で初の日本一に輝く、TV出演や指導者としても活躍中。こまのたけちゃんでは、障がい児児童の発達支援活動「アソビマツル」を実施。子どもたちに「生きる力」を、活動中。

主催・問合せ: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター
 〒260-0011 千葉県千葉市美郷区千早2-11-4 サウンドセンター 新千早 102号 ◆申込書は3ら面にあります
 TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: kidstheatre@illy.on.jp
 役員: 千葉県教育委員会

はじけておどろろダンスあそび

「出前で行ける子どものあそび*アート*交流体験 あそび あそび」

プログラム: **ダンスあそび** **参加費無料**
 日にち: 2023年8月23日(火)
 時間: 10:00~12:00 (受付9:45から) **募集人数: 50人**
 場所: 印西市松山下公園総合体育館 **対象: 4歳~小学生 保護者**
 〒210-1317 千葉県印西市松原路 215

プログラム<ダンスあそび>
 指導者: 安西真希 岡田真子 橋本のほろ 黒川淳子

安西真希プロフィール
 ダンスのジャンルにとらわれない、色んな表現を求めて活動中。自らのクラスで、小学生~社会人のダンス指導もこなす。音楽が活動の軸。発達の遅い、子育て中のママさんなど、いろいろな方々を対象にした、ダンスの魅力を発信していきたい。定期的にワークショップを行う。

主催・問合せ: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター
 〒260-0011 千葉県千葉市美郷区千早2-11-4 サウンドセンター 新千早 102号 ◆申込書は3ら面にあります
 TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: kidstheatre@illy.on.jp
 役員: 千葉県教育委員会

フワフワどきん 体をつかっていっしょにあそぼう!

「出前で行ける子どものあそび*アート*交流体験 あそび あそび」

プログラム: **コミュニケーション遊び** **参加費無料** **募集人数: 5人**
 日にち: 2023年12月25日(月)
 時間: 10:00~12:00 (受付9:45から) **対象: 4歳~小学生 保護者**
 場所: 白井老幼の館ホール
 〒235-0827 千葉県白井市千早町下 25-1 043-467-6210

プログラム<コミュニケーションあそび>
 指導者: 大沼弘幸 橋本のほろ 黒川淳子

おねまくん(大沼弘幸)プロフィール
 「おねまの手」国際発達障害研究機構 発達障害と多動性注意欠陥多動性障害 改善者として発達障害者・障害児の支援活動に尽力。2018年 朝日新聞の「手取表」に紹介。

主催・問合せ: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター
 〒260-0011 千葉県千葉市美郷区千早2-11-4 サウンドセンター 新千早 102号 ◆申込書は3ら面にあります
 TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: kidstheatre@illy.on.jp
 役員: 千葉県教育委員会

プログラム名：「こまあそびの出前隊がやってくる！」



実施場所：佐倉老幼の館児童館 ホール 野外
実施日時：2023年 8月 2日（金） 14：00～ 16：00
参加者数：総数 38人
子ども 25人（ 幼児4人 小学生20人 中学生1人 ）
大人 13人（ 保護者6人 施設スタッフ 7人 ）
スタッフ数：指導者5人（ 武田勉 鈴木佳子 白鳥みゆき 滝口淳子 椎名好子 ）
コーディネーター2人（ 滝口淳子 椎名好子 ）

ワークショップの内容

たけちゃんのパフォーマンス（コマ、けん玉、他）
コマを回してみよう やりたい遊びをやってみよう 野外で中国ゴマ披露

当日の様子

慣れた場所なので、ゆったり感があつて、子どもたちは伸び伸びしていた。とても反応が良く、たけちゃんの投げかけに積極的に答えていた。「なにそれ？」「たまたま?!」に何度も笑い転げまわっていた。たけちゃんが難しい技を失敗してしまった時には、とがめることなく、次こそ！という応援の気持ちをこめて見ていた。たけちゃんの技に引き込まれ、どんどん前のめりになっていった。お母さんの横で見ていた男子は、技が決まるたびにお母さんの顔を見てニコリ。お互いに「すごいね！」と思っていることが伝わってきた。パフォーマンスが終わり、「賢く？見ていてくれた子に、コマをプレゼントします」にパワー全開だった子が帽子をかぶり下を向いて、しゅんとしてしまった姿が何ともかわいらしかった。学校や学童でも昔あそびはしているとのことで、余り苦手意識は持っていない様子で、どの子も諦めることなく、集中して遊んでいた。できた！の嬉しい気持ちをたけちゃんに伝えたい子がいっぱい！認めてもらえた、褒めてもらえたことが自信になり心がほんわかしているのが、子どもたちの笑顔に表れていた。

子どもの声

アンケートから（人）：たのしかった(23) うれしかった(14) おもしろかった(17) げんきがでた(12)
きぶんがよかった(12) やれてよかった(19) むずかしかった(14) つかれた(14)

- ・ようちえんから一年生までコマをまわせなかったけど、今日、きゅうにまわせるようになってびっくりしてたのしかった。
- ・あたらしいわざができるようになった
- ・皿回しがおもしろかったけれど、すごく難しかったです！コマがかわいくて、うれしかったです。たけちゃんのイベントがまた、あるなら来たいと思います。

施設関係者からの声

・本当に楽しい時間で子どもたちはいろんなことに挑戦して素晴らしかった。リラックスしていい体験をさせてもらった。実際に行った体験はゲームに負けない。親御さんたちから子どもたちに声かけ、背中を押してくれて参加が増えた。

（滝口淳子 椎名好子 ）

実施施設：市川市こども館

プログラム名：「ダンスであそぼう！」



実施場所：市川市こども館 2F 幼児室

実施日時：2023年8月19日(土) 10:00 ~ 12:00

参加者数：総数 39人

子ども 21人(幼児12人 小学生9人)

大人 18人(父5人 母8人 施設職員5人)

スタッフ数：指導者 5人(安西真幸 大塚るい 岡田泰子 濱美幸 加藤香都代)

コーディネーター1人(宇野京子) スタッフ1人(越塚由美子)

ワークショップの内容

・からだほぐし(四つんばい歩き かえるとび ケンケン)・輪になって自己紹介あそび ・二人組で向き合いリズムにあわせてフリをする ・「♪おどるぼんこりん」に合わせて踊る ・じゃんけんする ・色々な音をきいて振りをつくる。・「♪さんぼ」の曲に合わせて会場いっぱい走り回る ・大きな布を下を子どもたちはくぐったり飛び越える ・「♪エジソン」の曲に合わせて早いテンポで踊る。

当日の様子

- ・お父さんの参加が多く、週末らしい雰囲気だった。お父さんも一緒に「ヨ～イ、ドン」で四つ這い歩きを真剣にする姿はシンプルだがふだんの生活ではあまりしない動きに愉快さを感じているような、何とも楽し気な雰囲気だった。初めて会った子同士、はにかみながら2人組になって、どんどんイキイキしてきた。
- ・「♪おどるぼんこりん」あたりから、子どもの目がキラキラしてきた。ダチョウが歩くようなひょうきんな歩きをする二人の男の子をまあちゃんが「すばらしい！一緒にやろう！」と言うととても嬉しそうだった。おもしろいフリを覚えてほぼキレッキレになった頃に音楽が加わってより楽しそうに踊っていた。
- ・「今度は新しい仲間をさがそう！ドキドキするよね。勇気をだして！」と励ました頃には、不思議なほど異年齢の子どもたちがまとまり、小さい子も楽しそうに輪に入り、やりたいように自由に踊っているようすだった。姉弟に身体を添えて手伝っているおねえちゃんもいてほほえましかった。

子どもの声

アンケートから(人)：すごかったのしかった(7) うれしかった(4) 元気が出た(5) 気分が良かった(3)
むずかしかった(2) つかれた(4) ・来年もやりたい。

大人の声

先生の話をよく聞いて動きをまねしていて子どもが思った以上にうごけるんだなと感動しました。家とは違う我が子の様子、みんなでの活動に楽しそうに参加している様子を見ることができ、今回参加して本当に良かった!と思えました。

施設関係者からの声

- ・保護者も子どもたちの様子をニコニコしながら参加し、あたたかい雰囲気だった。
- ・普段のこども館と違って気後れしている子もいたが、まあちゃんの無理強いしない巻き込み方が素晴らしい。みんなすごくいい顔をしていた。私たちも勉強になった。

(宇野京子)

実施施設：野菊野こども館

プログラム名：「こまあそびの出前隊がやってくる！～けん玉・コマ回しに挑戦～」



実施場所：野菊野こども館 ホール 野外

実施日時：2023年 8月 20日（日） 13:30 ～ 15:30

子ども・大人参加総数 32人

①子ども（ 21人）内訳（幼児 6人 小学生 15人）

②大人（ 11人）内訳（保護者 7人 野菊野こども館スタッフ 4人）

スタッフ数：指導者 5人（武田勉 岡田泰子 椎名好子 滝口淳子 中村雪江）

コーディネーター 2人（中村雪江 椎名好子）

ワークショップの内容

- ①こまのたけちゃんの技の披露：けん玉（野球 飛行機 うぐいす 大小・外国のけん玉）こま（ツバメ返し エレベーター 扇 二刀流 ベーゴマ 中国ゴマ）皿回し 玉すだれ デビルスティック
- ②子どもたちの体験：けん玉 コマ 皿回し 玉すだれ デビルスティックなどから、やりたいものを個々に選んで自由度の高い体験。幼児向きの種類豊富なこまであそぶ
- ③外に出て；中国ゴマを高く上げる（ビル5F相当まで） 見学

当日の様子

こまのたけちゃんのすご技に「わー！すごい」「もう一回やって」と、子どもたちは一気に盛り上がる。「けん玉はね。ひざを使って遊ぶんだよ」「知ってる～」とあちこちから声上がる。日本の伝統的なコマ回しは、子どもたちも注目して真剣に見入った。「二刀流ってわかる？⇒武蔵 ⇒おお！すごいよく知ってたね」子どもたちとのかけあいも、子どもの興味関心と集中力をつけた。息を止めるように静まって注目。成功すると「わあ！すごい！」パチパチと大拍手。一番難しいベーゴマを披露した時は、かぶりつくように近寄って見ていた。けん玉 こま 皿まわし デビルスティック 中国ごま ベーごま 玉すだれ…と十分な数が用意され、子どもたちは自由に選びながらほぼすべてに触れて、チャレンジして練習をした。子どもたちは「たけちゃ～ん」と呼びながら、お兄さんに接しているようだった。コマ回しが出来ない子へも、紐の巻き方、投げ方、角度を体で覚えるような指導で、ほとんどの子がこまを回せるようになった。

子どもの声

- ・コマがうまくできたり、見たこともないものを使えてたのしかった。たけちゃんのすごわざがすごくておもしろかった。
- ・コマのエレベーターで上がるのがすごかった。2枚
- ・デビルスティックを何回も練習して、まわるのはできなかつたけど、上にあげるのはできたから、まわるのもちようせんしようと思いました。

大人の声

- ・玉すだれに初めて触れた。幼児用のこまを回すとへびが動く仕掛けのコマにめちゃくちゃはまっていた。子どもたちの興味関心度はすごかった。

施設関係者からの声

- ・子どもたちはすごく楽しそうに盛り上がっていました。たけちゃんのすご技をあこがれをもって見ていたと思います。あそぶ体験はとても大事だと認識していて、今後も続けたいですね。

（中村雪江 椎名好子）



実施場所：印西市松山下公園総合体育館 サブアリーナ
実施日時：2023年 8月 23日（水） 10：00 ～ 12：00
参加者数：総数 49人
子ども 44人（小学生44人）
大人 5人（児童館職員3人 子育て支援課1人 印西市広報課 1人）
スタッフ数：指導者5人（安西真幸 安西千紗 椎名好子 鈴木佳子 綿貫のぼら）
コーディネーター2人（鈴木佳子 椎名好子）

ワークショップの内容

- ・体ほぐし準備体操
- ・ストレッチ体操
- ・グループ分け
- ・ゲーム遊び
- ・みんなで考えてみようダンス
- ・一緒にダンス

当日の様子

体ほぐしと準備体操、一列に並んで両手を挙げてびよんびよん走る、手と足をついて4本足で走る、片足けんけん、上を向いて歩く、一生懸命やっているうちにいつの間にかボートこぎになってしまう「それでもいいよ」とまーちゃんが声をかける。ストレッチ体操 あしの指をグー、パー、チョキ！とやってみる 「足がボキ、ボキいってる」「からだがほぐれてきた～」「ダンス大好き！はやくやりたい！」と声が上がった、

服の色でダンスのグループ分け、もじもじしながらもグループに分かれる。次は2人組になれる？声を掛け合いながら相手を探す。ちびまるこちゃんの音楽で、振り付けをまーちゃんがいろいろ考えながらやってみる。それを見ながら子どもたちもやってみる。途中の足じゃんけんですっかり打ち解けた様子。テンポの速い曲でもがんばってついてくる。みんなの集中度がすごい！ペアをチェンジしながら遊びのダンスをする。1年生の男の子と女の子、初対面だったが相手を見つけて「一緒にやろう！」と男の子が声をかけて成功、恥ずかしそうにペアになって踊った。音遊び「びよ～ん」「ぼこぼこ」「ぱきぱき」いろいろな擬音でダンスで表現してみる。「にゃ～にゃ～」は女の子が3人でネコのまねをする。「すごいね～最高！」とまーちゃんにほめられ嬉しそう。

「エジソン」の歌の振り付けをグループで考えように挑戦した。リーダー性のある大きな子が提案して決めるグループ、思いつきを出し合いながら決めるグループもあり、様々だけどしっかり自分たちで考えた。

最後にみんなで8テンポの「エジソン」の曲に合わせて創作ダンス発表になった。体ほぐしや、ゲームをやったり、遊んだりしてたら最後にダンスになった！満足感の顔。

子どもの声

- ・またさんかしたいです。
- ・自由につくっていいおどりで、私が考えたおどりがさいようされたうれしかった。
- ・おしりをあげてうしろあるきがむずかしかったけどがんばれてよかった。
- ・体でじゃんけんするのが楽しかったです
- ・6年生がやさしかった。

施設関係者からの声

・児童館で出会ってから友だちになった子たちもいて、良かったです。 ・6年生たちがリーダーシップを発揮していて良かった。 ・指導者の子どもののせかたが上手で勉強になりました。 ・子どもたちが笑顔で楽しんでたのが良かったです。

（ 鈴木佳子 椎名好子 ）

実施施設：佐倉市臼井老幼の館児童館

プログラム名：「からだをつかってワクワクドキドキあそぼう」



実施場所：佐倉市臼井老幼の館児童館ホール

実施日時：2023年 12月 25日（月） 10：00 ～ 12：00

参加者数：総数 37人

①子ども 26人（小1：1人 小3：12人 小4：12人 小6：1人）

②大人 11人（児童館保育士7人 学童保育指導員2人 佐倉市保育課2人）

スタッフ数：指導者5人（大潤弘幸 滝口淳子、綿貫のぼら、白鳥みゆき、椎名好子）

コーディネーター2人（滝口淳子 椎名好子）

ワークショップの内容

- ・色おに ・座り方（ピラミッド、おっさん、土下座、セクシー）・輪になって名前を呼び合う
- ・♪さんぽに合わせて散歩（カラス、・・・） ・震源地はどこだ ・なりきりかくれんぼ
- ・お絵描き“ぬまい”の絵を書く ・紙コップけん玉作り ・コマ回し

当日の様子

慣れた場所で安心感もありリラックスしているようだ。連続した遊びが次々と繰り出され、最初の色オニからノリノリで、お友達に自分の服を触られても嫌がる子はいず、楽しんでいた。シワシワに先生方の顔を見る子、遠慮がない関係性が見えた。大人も子どもも大笑いした。

座り方の名前を付けて表現遊びでは、次々と意見が出て「ピラミッド」かけ声は「シャキーン！」「あぐら！」かけ声は「親父！」「土下座」かけ声は「すいません！」横すわりに「セクシー」の声。子どもたちは素早いマネとかけ声で、一気に大潤さんの遊びのマジックにかかってしまった。

「震源地はどこだ」「リーダーになりたい人？」たくさん手が挙がる。じゃんけんできめた。クールダウンでお絵描き“ぬまい”の絵を書く。直ぐに書き始める子、ずっと考えている子、「正解はないから自分で想像して書くんだよ」の大潤君の声掛けに安心した様子だ。発想が素晴らしく、子どもの内面もどんどん引き出されるプログラムだった。出来上がった絵はみんなでお話しした。紙コップけん玉作りでは、新聞紙を丸めるのが難しかった子を手伝ってあげたり、教えてあげたり、わからないことは直ぐに周りの大人やスタッフに聞いたり助けを求めたりできていた。コマ回しでは紐まきに苦戦していたが、あきらめず頑張っていた。回すことができると全身で嬉しさを表現していた。達成感で満たされた子どもたちの顔は輝いていた。

子どもの声

アンケートから（人）：たのしかった(23) うれしかった(13) おもしろかった(23) げんきがでた(12) きぶんがよかった(15) やれてよかった(20) むずかしかった(10) つかれた(5)

- ・めっちゃたのしかったです！またやりたい！すごく楽しくて、ずっとこの遊びをやっていたい。
- ・コマをおおま先生が教えてくれた。みんなとコミュニケーションがとれてうれしかった。

施設関係者からの声

- ・自分たちも楽しかった。子どもたちはもっと楽しかったらう。子どもがいつもより生き生き輝いていた。楽しくて笑顔がいっぱい、子どもの発想が自由だ。
- ・大潤さんの子どもをひきつける話術はすごい。子どもの受け止め方がすごい。真似したい。

（ 滝口淳子 椎名好子 ）



＜こども基本法 2023年4月1日施行＞（一部抜粋）

こども基本法は、日本国憲法、児童の権利に関する条約（以下「こどもの権利条約1」という。）の精神にのっとり、次代の社会を担う全てのこどもが、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、その権利の擁護が図られ、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指す。

＜こども大綱の策定 2023年12月22日閣議決定＞（一部抜粋）

全てのこども・若者が、日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約*の精神にのっとり、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる社会。

こども大綱が目指す「こどもまんなか社会」

～全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会～

1 ライフステージを通じた重要事項として (1) こども・若者が権利の主体であることの社会全体での共有等

(2) 多様な遊びや体験、活躍できる機会づくり（遊びや体験活動の推進、生活習慣の形成・定着）

遊びや体験活動は、こども・若者の健やかな成長の原点である。例えば、こどもが遊びに没頭し、身体の諸感覚を使い、自らの遊びを充実、発展させていくことは、言語や数量等の感覚などの認知的スキルや、創造力や好奇心、自尊心、想像力や思いやり、やり抜く力、折り合いをつける力などの社会情動的スキルの双方を育むことに加え、多様な動きを身に付け、健康を維持することにつながり、ひいては、生涯にわたる幸せにつながる。こういった遊びや体験活動の重要性、学びへのつながりや、その機会を保障することの重要性を改めて認識した上で、国や地方公共団体、地域、学校・園、家庭、若者、民間団体、民間企業等が連携・協働して、こども・若者の全てのライフステージにおいて、年齢や発達の程度に応じて、自然体験、職業体験、文化芸術体験など多様な体験・外遊びを含む様々な遊びができるよう、青少年教育施設の充実を含め、地域資源も生かした遊びや体験の機会や場を意図的・計画的に創出する。地域や育成環境によって体験活動の機会に格差が生じないように配慮する。

■遊ぶことがなぜ大切か 遊ぶことの意義・効用■

子どもは、大人によって育てられるのとは別に、自ら育つ力を持っている。子どもの内側から生まれる「やりたい」という気持ちは、生きていく原動力となり、そこから子どもは自分の世界を構築し、生きている実感を獲得していく。遊ぶことは、身体や心、人間関係、知性、創造性など、全人的な育ちと、自分の人生を自分で手づくりする土台を築くことにつながる。 <2023年6月8日(火) 総会関連企画講演会より抜粋 講師：神林俊一>



令和5年度子どもゆめ基金助成事業

「出前で届ける子どものあそび*アート*交流体験 あそぼ あそぼ」

実績報告書

発行日：2024年1月10日（水）

発行者：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉市中央区新千葉 2-17-6

サンコート新千葉 102号

TEL：043-301-7262 FAX：043-301-7263

E-mail：kidchiba@lily.ocn.ne.jp

この報告書の内容を無断で引用・転載することはかたくお断りいたします

 National Institution For Youth Education
公益財団法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」



令和5年度子どもゆめ基金助成事業
実績報告書

主催・発行：特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉市中央区新千葉 2-17-6 サコート新千葉 102 号

TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263

E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp

URL <http://chiba.gekijou.org/>

※実績報告書のコピー・無断使用を禁じます。